

令和 7 年 7 月 28 日
教育振興課作成

市立小学校の環境整備について（報告）

1 現状と課題

夏季において、校庭での活動ができない現状に加え、体育館での活動を実施しようとしても、体育館内も高温となっています。

今年は、例年にないほど気温が上昇していますが、6 月の一ヶ月間で、WBGT 指数の危険（31 以上）や、嚴重警戒（28 以上 31 未満）となる日が 14 日間発生していることから、夏場における、体育の授業を中心とした小学生の活動の場を確保することができない状況です。

2 現在の取り組み

令和 6 年度に永山小学校体育館へ設置した遮熱シートの効果を、遮熱シートを設置していない体育館との温度や湿度などについて比較しています。

測定結果から、外気が上昇した場合は、各体育館内における温度に、顕著に差が生じることから、これから真夏を迎えると、更に、遮熱シートの設置効果は得られるものであると考えています。【遮熱シートの結果については、別添資料 2-2 を参照】

3 市立小学校の環境整備

現状の気温上昇傾向を踏まえると、体育の授業を中心とした小学生の活動の場を確保するには、遮熱・断熱工法を施工し空調効率を高めたうえで、空調設備を設置する事が対策案の一つであると考えられます。

現在、教育振興課において、具体的な設置方法や必要な空調能力、契約方法の検討、先進自治体へヒアリング、複数の事業者からこれまでの施工実績等の調査をするとともに、国や東京都に対し、補助対象経費について質問を行う等、最大限に歳入を確保できるように検討しています。

今後も、市立小学校体育館へ空調設備が設置できるよう様々な角度から検討を進めていきます。

4 空調設備設置に向けた 4 つのコンセプト

① 気候変動に対する教育環境改善と災害時避難所利用

⇒ 適切な空調能力の選択・停電時の利用検討

② スピード感を持ったスケジュールの立案

⇒ 単年度で全校へ導入する手法の検討

③ 特定財源を最大限に活用

⇒ 導入手法に応じた補助制度の選定

④ 空調効率を高めるための、断熱・遮熱改修の検討

⇒ 永山小学校での実証実験を通じた効果検証（遮熱シート工法の活用）